

◎水道管の更新と耐震化に努めています

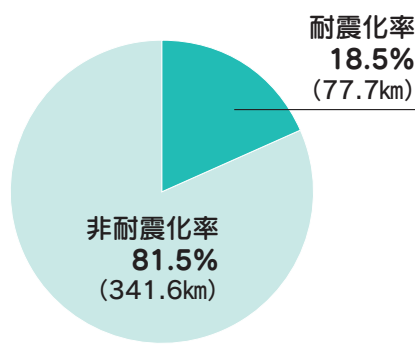
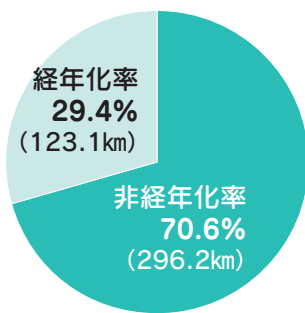
水道事業は巨大な装置産業です。その中の多くを占める水道管路について、本市の水道管路(簡易水道事業を除く)は総延長が419.3kmあり、これは兵庫県姫路市までの直線距離と同じくらいの距離となります。水道管の多くは昭和30～50年代に集中的に整備したもので、既に40年の法定耐用年数を超えた水道管路の割合(経年化率)が30%程度あります。老朽化した水道管は、漏水事故が起こる危険性があります。漏水修理は、まず漏れている箇所を探し、掘り出して補修し、再び埋め直すという、とても手間と経費がかかるものです。そのため、老朽化した水道管の更新を計画的に進めなければなりません。

また、地震の際に漏水の可能性が高い非耐震管の割合(非耐震化率)は80%を超えています。水道局では、平成20年度の工事から耐震管を使用しており、災害に強い耐震管への布設替工事に取り組んでいます。



▲水道管の漏水

【水道管路の現状】



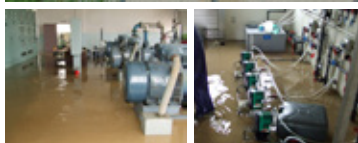
▲老朽化した水道管更新・耐震管布設工事

◎災害に強い水道施設を構築しています

平成22年7月の厚狭川豪雨災害による水道施設の被害(山陽地区における約5日間の断水)を教訓に、災害時にも対応可能な鴨庄浄水場管理棟および新配水池(西見配水池)を厚狭地区に造りました。



▲破断した水道管(厚狭川新橋)



▲冠水した鴨庄浄水場



西見配水池

◎給水開始日

平成29年3月9日(木)
※切り替え作業は3月8日(水)23:00～9日(木)5:00に行います。

◎対象地区

厚狭小学校区および
鳥越地区



厚狭川新橋に架かる水道管
(平成25年8月完成)



鴨庄浄水場管理棟完成予想図
(平成29年3月完成予定)

水道局では、今後も安心でおいしい水を安定して供給するため、「水道についての啓発」「経営基盤の強化」に努めます。